

 **会報**
シルバー

公益社団法人 大館市シルバー人材センター

おおだて

大館市字扇田道下6番地10 電話49-4088



夏の終わりを告げる旧盆行事「大館大文字焼きと花火」

写真提供 11班 成田輝夫 氏

総会あいさつ



会長
鳴海 義衛

平成三十年度定時総会の開催に当たり、ご挨拶申し上げます。

本日、大館市副市長名村伸一様をはじめご来賓の皆様方には、大変お忙しい中ご臨席を賜り、心から厚く御礼申し上げます。また、会員の皆様方には、地域のために日々奮闘されておりますことに対し、衷心より敬意を表します。

ご承知のとおり、シルバー事業の目的は「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、働くことを通じて高齢者の自立と生きがい充実を図り、同時に高齢者の活動によって自分たちが住む街を明るく元氣な社会にしようとするものです。

生産年齢人口が減少する中、人手不足分野や介護・育児等の現役世代を支える分野で、高齢者の就業によって下支えすることは、国の経済、社会の維持・発展のために極めて重要になっており、当センターも現状を十分踏まえて事業を進めて参りました。

こうした中で、私もセンターの昨年度の事業活動は、会員数において、わずか一人ではありませんが八年ぶりに増加に転じました。また、受託事業及び派遣事業においても前年度実績を大幅に上回り、総受注額は二億六千六百万円台となりました。これらは全て会員皆様方の地道な努力が地域社会から支持、評価された賜物であると、改めて感謝申し上げます。

ここで一つ、生産年齢人口の減少に関連して申し上げますが、当センターには、もつと多く働きたいと希望する会員が大勢おります。希望が叶うよう運動してきたところ、自由民主党の一部国会議員でつくる「シルバー人材センター活性化議員連盟」の支援のお陰で、平成二十八年に「高齢法」が改正され、会員の働く時間が拡大できるようになりました。

これにより、働き手の確保に苦慮する産業界及び会員双方にとつて大変良い効果が見込めることとなりりましたが、その実現のためには、地域や業種について秋田県知事の指定を受ける必要があります。今後、シルバー連合会と連携して進めて参りますが、本日の総会にご臨席を賜っております県議会議員の先生方には、秋田県との協議の際には是非、背中を押して

いただきますよう、この場をお借りしてお願ひ申し上げます。

さて、これから本格的に新年度事業がはじまります。「中期計画」に掲げた基本目標を中心に、着実に実行して参りますが、新年度は労働者派遣事業で従事する会員のために、「産業医」を委嘱のうえ「衛生委員会」を設置し、安全と健康に配慮した就業環境の構築に努めて参ります。

また、シルバー事業には、地域社会への貢献が一層期待されております。「第二次新大館市総合計画」の中で、「ひとづくり」、「暮らしづくり」、「ものづくり」、「物づくり」、「まちづくり」に、これらを支える「まちそだて」を加えた六項目の基本目標が掲げられております。その中の「暮らしづくり」や「ものづくり」の分野において、市民生活のサポート役として、或いは経済活動の側面支援など、微力ながら貢献したいと考えておりますし、高齢者世帯や身体障害者のための「ワンコイン・サービス」をはじめ、空き家・耕作放棄地管理などに継続して取り組み、行政の手の届かない部分についても協力したいと考えています。

そのために避けて通れないのが、会員の拡大です。ここ数年、

私もセンターが直面している課題は会員数の伸び悩みです。また、会員の平均年齢は七十二歳を超えており、新しい会員を迎え入れて、若返りを図っていかなくてはなりません。

これまでも申し上げているとおり、会員皆様方の口コミによる勧誘が大きな成果に繋がっております。改めて友人知人に一声かけていただき、新しい仲間を増やしていただくようお願いいたします。また、センターとしても、より一層入会しやすくするため、本総会に「会員会費規程」の改正を提案させていただきます。ご承知のとおり、今日の日本は既に人口減少社会に突入してまいす。この先どうするか、確たる展望が描けない状況のようですが、経済活動の維持や市民生活の支援のために、ますます高齢者の社会進出が求められ、活躍の場が広がることだけは確実だと思っております。

そのような状況下において、私たちシルバー人材センターは、社会の変化に柔軟に対応することで地域社会の維持・発展に寄与して参りたいと考えておりますので、ご来賓の方々はじめ、会員の皆様には、一層のご協力をお願いします。

平成三十年度総会・交流会

去る六月八日、プラザ杉の子を会場にして、当シルバー人材センター平成三十年度「定時総会」が開催されました。

大館市長が出張で不在のため、名村伸一副市長にご臨席を賜り、シルバー事業への支援と会員の皆様の活躍に労いのお言葉を頂戴しました。また、ハローワーク大館の佐々木政義所長及び県議会議員の鈴木洋一氏、石田寛氏、佐藤賢一郎氏のお三方、加えて市議会教育産業常任委員長の田村儀光氏からも、ユーモアいっぱいのお励しのお言葉を頂戴しました。

法人 大館市シルバー人材センター平成30年度定時総会



会長挨拶

総会は、当日の会員数五百五十二人中、三百七十三人の出席者数(委任状百五十七人、書面表決百一人含む)のもと、昨年に続いて十一班班長の成田輝夫氏が議長に選出されました。

定款変更や会費規程の一部改正及び補欠理事選任案など上程されましたが、成田議長の采配と出席の皆様のご協力によりスムーズに進行。上程された五件の議案とも提案のとおり満場一致承認可決されました。

また、本定時総会では、元役員の大藤亮治氏と小林則子氏に感謝状を贈呈させていただきました。さらに、長年役員を務められ、後に退会されました鈴木実明氏、渡部壽男氏、櫻庭晋一氏のお三方にも日を改めて感謝状を贈呈させていただきました。

公益法人移行の際、指導等があつて礼を失した形になっていましたが、ようやく感謝の意をお伝えすることができました。

なお、今年度の重要課題は「会員増強」です。全国のシルバーが一致団結し、三年後に「全国八十八万人会員達成」を、さらにその四年後に「全国百万人会員達成」を目指すことになりました。



「そよかぜ」御一行様 会場に、華を添えて

総会の後に開催された恒例の親睦交流会には、九十人ほどの参加者がありました。

来賓の鈴木洋一県議及び田村儀光市議会教産委員長、それに元会長の下遠顧問と佐藤顧問も参加され、会員席を回って一人一人にお言葉をかけて下さいました。

そして、会員同士お酒を酌み交わして近況を語り合い、思い出話に花を咲かせ、市民歌の大合唱で大いに盛り上がり、笑い声が絶えない楽しい交流会となりました。

平成三十年度の重点事項

☆第二次「全国百万人会員」達成に向けた取組み

- ・会員増強のための訪問活動
- ・会員による「一人がひとり入会促進運動」の協力要請
- ・年会費の見直し

- ・役員員街頭宣伝活動
- ・広告媒体の活用、ポスター作製・掲示、他

☆安全・適正就業の取組み

- ・安全適正就業委員会の巡回
 - ・シルバー連合会との連携
 - ・衛生委員会設置と産業医の委嘱
- (産業医は、東台の「さくらば



来賓の方々も和やかに

「医院」の先生です)

- ・適正就業ガイドライン活用と不適切な就業形態の防止
- ☆地域就業機会創出・拡大事業の推進
- ・ふれあいサービス、空き家・空き地・お墓の管理、ワンコインサービスの継続実施

新任理事紹介



理事
山本 操

私は、平成二十七年九月に会員となり、現在一週間交代でスポーツ施設の管理業務を担当しております。

私は、以前から現在も大館市シルバー人材センター会員の業務について関心を抱いております。

特にセンターではどのような業務を契約しているかインターネットで確認しており、例えば、特定随意契約の契約内容一覧により、大館市との契約内容の一部を把握し、さらに同市から業務を貰えないかと探求しております。

そこで、同市の空き家等対策計画(案)についての適正な管理方針に関する意見募集に対して、私は同市及びセンターが空き家の適正な管理の推進に関する情報収集及び提供等に関する協定を締結するよう、同市に対して提案したこともあります。

また私は、活力ある地域社会づくり、地域の未来づくりに寄与したい観点から、センターは地域住民のためにどう在るべきか、探求し続けたいと思います。

再来年はセンター創立四〇周年記念を盛大に迎えることができるよう、会員拡大及び仕事の確保・拡大、さらに会員の連携強化に頑張りたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

会員の寄稿

「熱中症予防講座を聴講して」



十四班
芳賀 芳雄

温暖化の影響か、日本列島は年々夏の暑さが厳しくなっています。その暑さがピークに達するのが八月です。

以前は炎天下や高温下で起きる症状を「日射病」や「熱射病」と呼んでいましたが、現在はそれらの症状を包括して「熱中症」と呼びます。

ちなみに、日射病は直射日光を浴びることによって発症する熱中症で、熱射病は病状が進行した重度の熱中症だそうです。

熱中症の発症メカニズムは、気温が高くなると人間の体は熱を放出して体温を一定に保とうとします。その時、まずは皮膚の表面から空气中に熱を放出し、さらに汗をかくことで熱を放出します。汗をかくと、その汗が蒸発するとき体から熱を奪い体温が下がります。これを気化熱というそうです。

ところが、気温がぐんぐん上がって体温より高くなると、皮膚から空气中に熱を放出できなくなります。すると体温調節は発汗だけになります。その時、湿度が75%以上になると汗をかいても蒸発できず、気化熱も働かなくなつて体に熱がこもってしまうので

す。

他にも、睡眠不足や疲労の蓄積なども発症率を高める原因になるそう、普段の体調管理はじめ、水分や塩分の補給、涼しい場所への避難など、予防措置を講じて熱中症にならないようにすることが大切です。

私は現役時代、建設会社で働いていました。主に営業畑を歩いてきましたが、現場に出ることも多くありました。日焼けで色黒なので丈夫そうに見えるのか、シルバーから舞い込む仕事は、片付け作業や農家の手伝いなど、屋外作業が中心です。冬は「ぶしの家」の管理人をやっています。何でも断らずに頑張ってきました。

しかし、会員になって七年目になり、とうとうシルバーの平均年齢を超えました。気持ちとは裏腹に、近頃めつきり体力が落ちて疲れやすくなりました。熱中症の患者のおよそ半数は六十五才以上の高齢者だそうですが、自分も危ない年齢だということを実感しなければならぬと思っています。

講師の先生は、「高齢者こそ肉を食べて体力を付ける」と言っておりました。まだまだ残暑が続くし、夏の疲れが残っています。会

員の皆さん、野菜ばかりでなく豆腐や肉をたくさん食べて、体力をつけましょう。

「会員になりました」



十三班 佐藤 恭子

親の介護が終わり、何もするところがなく、体の調子がどんどん悪くなるような気がして、「何かしなくては...」と思い始めていた。たまたま公民館で「介護補助員」の講習があると知り、重い腰をあげてシルバーの事務所を訪ね、早速会員登録をし、受講の手続きをお願いした。

久しぶりに大勢の人の集まりの中に入っていった。仕事を辞めてから狭い範囲にばかり居たので、とても新鮮でハリがあり、気持ち前向きになってきた。これからでも何かできるかも知れないと、感じられるようなもなってきた。仕事を紹介していただき、ペテランの方たちに一から教えてもらい必死でやってみた。どの仕事も

初めての経験で、頭も体も久しぶりにフル回転。素人ながらも回を重ねるごとに少しずつ覚えて段取りも解り、近頃ようやく全体が見えてきたように思う。今ぐらいのペースで仕事ができたら、ほどほどの疲れと緊張感で丁度いいかなと思っている。

若い頃は自分だけのペースで仕事をしてきたので、目の前に仕事があるという夢中になってしまふところがある。(性格でしょうか?)だから、他の人と一緒の仕事の時は、これで大丈夫かな?と心配になつてしまふ。もしかして迷惑がられていないかなとか、家に帰つてからいろいろ思い返す。「丁度いい」が結構難しく、無駄に力が入つてしまふ。(笑い)娘にも「お母さんは、周りから浮いているね」とよく言われる。

この一年間に三度の講習を受講した。介護補助員の講習、介護送迎の講習、ハウスクリーニングの講習だ。親の介護が終わつてからの介護講習、掃除の仕事を一年やってからのハウスクリーニングの講習と、どちらも「後先」になつてしまつたが、とてもためになり納得できたので嬉しかった。こういう機会をいただいで、シルバー

の会員になつたことは正解だつたと、あらためて感謝でいっぱいだ。

自分の年齢を考えた時、あと何年仕事ができるかなと、ふと頭をよぎるけれど、健康に留意して、私はもちろん主人にも「丈夫で長持ちして...、ずっと仕事をしたいから...」とお願ひしている。家族の健康と理解と協力が一番ですからね。シルバーの皆様、これからも宜しくお願いします。

第三十八回「一斉奉仕作業」のご協力に感謝申し上げます

去る七月七日に実施された、第三十八回「一斉奉仕作業」は、昨年続き雨天決行となりました。

悪天候のため参加者が少なくなつてしまいましたが、それでも参加してくれた方々が一生懸命頑張ってくれましたので、予定どおり作業を終えることができました。

各施設から、事務局にお礼のお言葉が届きました。参加して下さった皆様、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

参加者数と参加率

一	班↓	二人参加	40%
二	班↓	五人参加	22%
三	班↓	十一人参加	33%
四	班↓	一人参加	7%
五	班↓	十八人参加	43%
六	班↓	八人参加	62%
七	班↓	十二人参加	32%
八	班↓	四人参加	16%
九	班↓	五人参加	20%
十	班↓	五人参加	31%
十一	班↓	十一人参加	30%
十二	班↓	十人参加	22%
十三	班↓	七人参加	32%
十四	班↓	五人参加	16%
十五	班↓	十二人参加	52%
十六	班↓	十人参加	44%
十七	班↓	十四人参加	40%
十八	班↓	十三人参加	38%
十九	班↓	三人参加	33%
二十	班↓	十四人参加	39%
二十一	班↓	二人参加	18%
二十二	班↓	九人参加	45%
二十三	班↓	九人参加	45%
二十四	班↓	九人参加	45%

・以上、総会員数五百六十一人中、百八十一人が参加し、平均参加率は32.3%でした。



庭木班の皆さん



十二所ふれあいセンター



長根山運動公園



真中保育園



二ツ山総合公園



鳥潟会館



比内地区の皆さん



ニプロハチ公ドーム



田代地区の皆さん

新会員を紹介します(敬称略)

富樫鉄夫	安達康範	畠山アサ	斉藤尚也	成田輝昭	高橋寧子	伊藤俊明	下山三郎	佐藤昭悦	蛇川真幾子	高谷金作	谷地紀夫	山内鉄信	工藤良子	佐藤雅之	高坂喜代子	齊藤賀津子	山口鉄子	工藤イネ子	古田猛	阿部正人	石田民男	小松光行	佐藤禮子	佐々木正敏	山木昭二	畠山喜美雄	福士純子	山内俊蔵	
十七班	十七班	十六班	十五班	十四班	十四班	十四班	十四班	十四班	十三班	十三班	十二班	八班	八班	八班	七班	七班	七班	七班	七班	六班	六班	六班	六班	三三三	三三三	二二二	二二二	一班	一班

・去る七月二日(月)、庭木班、刈払い班、除草班、塗装班を中心とした会員と、安全・適正就業委員会のメンバーがセンター駐車場に集合し、「安全就業強化月間・激励会」を実施しました。

鳴海会長のお言葉、菅原安全委員長の激励の後、安全就業の取組みを誓い合いました。

会員の皆様、作業事故だけな

「安全就業強化月間」激励会

・以上、平成二十九年十二月以降、四十三名が仲間入りしました。

中嶋博	菅原久則	野呂久則	小玉健一	田村貞一郎	羽田恵子	嶋田茂博	田村健一	古家友治	小林稔	中山則夫	佐々木サヨ子	千葉誠	奈良俊和
二十四班	二十四班	二十四班	二十二班	二十一班	二十班	二十班	二十班	二十班	十九班	十八班	十八班	十八班	十八班

く、熱中症や通勤災害にも十分ご注意ください。

県シ連「安全標語」入選作品

・平成三十年度秋田県シルバー人材センター連合会募集の「安全標語」入賞作品を紹介します。

最優秀賞

「見落とすな」

目配り気配り心掛け」

由利本荘市SJC 齋藤 幹雄

優秀賞

「事故防止」

標語百よりまず実行」

秋田市SJC 米澤 嘉瑞

優秀賞

「無理すれば」

何処かで事故が待っている」

大潟村SJC 佐藤 豊

※他、入選九点。

残念ながら当センターから入選作は出ませんでした。来年は選ばれるよう願っております。

入会促進活動に

従事しています

六班 畠山 充、十二班 渡辺 金密、十八班 福岡一美。我々三名で大館市全域の戸別訪問に取り組んでおります。

会員確保に向けた活動ですが、単にチラシを配るだけではありません。一軒一軒訪問して、家人に「会員になりませんか?」と呼びかけるのです。

気恥ずかしさに加え、迷惑がられて嫌な顔をされるのでは?と心配したりもしましたが、実際に行ってみると、市民の皆様はシルバーに対して概ね好意的だと感じています。会員拡大のため、十一月まで任務遂行に励みます。



向かって左から、渡辺、福岡、畠山

お知らせ

次回以降の配分金支払日

- 七月分 ↓ 八月三十一日
 - 八月分 ↓ 九月二十八日
 - 九月分 ↓ 十月三十一日
 - 十月分 ↓ 十一月三十日
 - 十一月分 ↓ 十二月二十八日
- ・就業報告書は、早めの提出をお願いします。

事務所夏季休業のお知らせ

- 八月十一日(土)
- 八月十五日(水)

この期間、事務所が休業となります。ご迷惑をおかけしますが、緊急時の連絡先は、総会資料の最後のページに記載しています。

ハローワークで シルバー相談会

今年もハローワーク大館様のご厚意により、「シルバー相談会」を実施しています。日程は次のとおりです。友人知

人にお声掛けをお願いします。

- ☆八月の予定
3日(金)・17日(金)
 - ☆九月の予定
7日(金)・21日(金)
 - ☆十月の予定
5日(金)・19日(金)
 - ☆十一月の予定
2日(金)・16日(金)
 - ☆十二月の予定
7日(金)・21日(金)
- ☆時間 九時から十二時まで

「年会費」一部改正の内容

・先般の定時総会で「年会費規程」が一部改正されましたので、内容をお知らせいたします。

- ①一・二月入会 ↓ 半額
- ②三月入会 ↓ 全額免除
- ③夫婦会員 ↓ 配偶者のどちらか一方を半額

※但し、入会初年度に限る。

・会員の皆様、入会しやすい環境が整ってきました。奥様・旦那様にも入会を勧めてください。※現在、夫婦会員は十四組在籍しています。

熱中症はシルバー保険の対象外!

・熱中症は、シルバー傷害保険から除外されています。体調管理に努め、予防措置を講じて下さい。

通勤災害のシルバー保険除外例!

・通勤途上で事故に遭った場合、保険が適用されるのは「自宅と就業先(又はセンター)との間の通常の往復経路」に限られます。

・遠回りして用事を足した際の事故は、当然対象外となります。通常の経路であっても、途中で買い物に寄ったりすれば、一部例外を除いて、その時点で保険適用が中断となります。

訃報

- 5班 桜庭義金殿(74歳)
- 6班 石田ミヨ殿(84歳)
- 8班 寺田晃美殿(74歳)
- 11班 高野隆子殿(64歳)
- 14班 真崎武光殿(77歳)
- 14班 齋藤光正殿(68歳)

ご冥福をお祈りいたします

編集後記

盛夏の候、会員の皆様にはご清栄のこととお慶び申し上げます。

本年度における当センターの重点活動の一つとして、入会促進活動が挙げられます。具体的な活動の取り組みは省略しますが、この訪問活動により、これまでに以上に会員増強が期待されます。

他にも、例えば、地域の夏祭りや盆踊り等の行事に会員が積極的に参加して、センターの目的や活動内容等をPRしながら勧誘することも有効な方法の一つでしょう。

さて、会報七十五号は会員からも寄稿を頂き、盛り沢山の内容になりました。発行までに広報部会を二回開催し、事務局長には資料の収集やレイアウト等を担当して貰い、そして三浦部長を中心に記事の文言や内容等をチェックし、見やすく、読みやすい会報づくりを心掛けました。

また広報部会は、いろいろな話題等で歓談もあり、実に楽しい有意義な交流の機会にもなっています。

まだまだ暑い日が続きますので、体調管理に十分気を付けて下さい。

三浦、安田、伊藤、畠山、木越、山本